

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-506183 (P2005-506183A)
 【公表日】平成 17 年 3 月 3 日 (2005.3.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-009
 【出願番号】特願 2003-537774 (P2003-537774)
 【国際特許分類第 7 版】

B 0 1 D 35/02
 B 0 1 D 35/027
 H 0 1 F 27/00

【F I】

B 0 1 D 35/02 E
 H 0 1 F 27/00 B
 B 0 1 D 35/02 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 6 月 23 日 (2004.6.23)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1】

リザーバ内の液体を浄化する装置であって、該装置が、それぞれ送り路 (4) 及び戻り路 (5) を介してリザーバ内の液体と連通するようにされた流入口 (2) 及び流出口 (3) を有する真空チャンバ (1)、戻り路 (5) 内に配置されたポンプ (6)、真空チャンバに接続された真空ポンプ (7)、並びに複数のフィルタエレメントを具えるフィルタカートリッジ (8) で、各エレメントが中央通路と連通する流れ側とフィルタカートリッジ (8) の円周に開口する流れ側とを有するフィルタカートリッジ (8) を含み、フィルタカートリッジ (8) が真空チャンバ内に配置されており、フィルタカートリッジ (8) の中央通路が真空チャンバの流入口 (2) と連通している装置において、真空チャンバ (1) 内の液体泡レベルを監視し、かつ容器 (25) からの気体の供給のための均圧弁 (10) を制御するために、真空チャンバ (1) 内に第 1 センサ (9) を設けることを特徴とする装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 2】

真空ポンプ (7) が容器 (25) に接続されており、該容器 (25) が真空チャンバ (1) から排出された気体を蓄積するようにされており、さらに該容器 (25) が導管を介して均圧弁 (10) 及び圧力制御弁 (27) と連通している請求項 1 に記載の装置。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【請求項 3】

容器（25）が不活性気体を含む請求項 1 に記載の装置。